

図書館

としよだより

だより

問い合わせ先

泗水図書館 ☎0968 (38) 6866
 中央公民館図書室 ☎0968 (25) 1672
 七城公民館図書室 ☎0968 (25) 1580
 旭志公民館図書室 ☎0968 (37) 3111
 内線303

閉館日・閉室日

泗水図書館 月曜日・月末・祝日
 中央公民館図書室 火曜日・第1日曜日・祝日
 七城公民館図書室 日曜日・祝日
 旭志公民館図書室 日曜日・祝日

※図書イベント情報は、32ページの行事予定に掲載しています。



こんにちは、七城公民館図書室です。打出図書文庫は、絵本・児童書を中心に約560冊を揃えています。話題の本もたくさんあります。ぜひ、お立ち寄りください。(七城公民館図書室)

新着・お薦め図書

泗水図書館

三十光年の星たち 宮本 輝 著
 放課後はミステリーとともに 東川篤哉 著
 家族の歌 河野裕子 著
 花の鎖 湊 かなえ 著
 錯覚の科学 クリストファー・チャプリス・他 著
 足りないくらいがおもしろい 山本ふみこ 著
 十四歳のための物理学 佐治晴夫 著
 おかあさんは、なにしてる? ドロシー・マリノ 著

中央公民館図書室

清冽 詩人茨木のり子の肖像 後藤正治 著
 アンダスタンド・メイビー 上・下 島本理生 著
 祝福 長嶋 有 著
 ゆっくり急ぐ 外山滋比古 著
 盲導犬になれなかったスキッパー 藤崎順子 著

七城公民館図書室

麒麟の翼 東野圭吾 著
 こんもりくん 山西ゲンイチ 著

旭志公民館図書室

ケンケン 有川 浩 著
 なっとうさんがね・・・ とよたかずひこ 著

ねこのパンヤ

わたしが「ねこのパンヤ」をおすすめした理由は、パンの作り方やパンヤが作ったパンのメニューなどがのっているからです。
 パンヤは師匠が旅にでたので、師匠がのこした店をがんばっています。今ではもう村のパン屋さんで一番人気です。
 休日、クロワとノハナといっしょに過ごしていたとき、パンヤの見ていた本でお茶会の本を見ました。そして、「楽しそう」と思ったからクロワとノハナとお茶会をすることにしました。それから、「ぼくは、つくえといすを作る」と言い、ノハナも「花を



大谷美月さん (菊池北小4年)

おかだ なおこ 著

はった招待状とクッキーを作るわ」と言い、お茶会のじゅんぴをはじめました・・・。
 この続きは本を読んでください。おもしろいですよ。

耳より情報

子ども読書の日フェスティバルin泗水図書館 ～今・子どもたちのためにできること～

と き 5月14日(土)午後2時～午後3時
 ※キャラバン隊到着予定は午後1時。

「講談社のおはなしキャラバンカー」が来るよ!

講談社の「全国訪問おはなし隊」は、本の楽しさを子どもたちに伝えるため、全国を巡回しています。今回、このキャラバンカーが泗水図書館にもやってきます。図書館を使ったおはなし会もしてくれます。みんな来てね!

と き 5月15日(日)午前10時～
 ・リサイクル図書の配布
 ・ボランティアのおはなし会
 ・ミニコンサート
 ・各種展示

4月23日(土)～5月12日(木)は、こどもの読書週間です。今年の標語は「友だち100冊つくるんだ」。泗水図書館でも、いろんなイベントを予定しています。詳しくは館内配布のチラシをご覧ください。(泗水図書館)

万句の里俳句会 3月例会

馬の仔にぼんと蹴らるる牧の風
 光本とよいち
 初音して一気に動く宮の杜
 田中 美智
 初音聞く邂逅のごと神の沼
 吉井 綾子
 その辺り優しき風の諸葛菜
 丸山美代子
 耕して児等を育てて家を継ぐ
 岩木 敬治

せせらぎ俳句会 3月例会

小さな旅嫁が手渡す春シヨール
 寺本 和子
 野火走る阿蘇草原をまもる人
 藤本アツ子
 震災地暗闇に耐え春を待つ
 五丁 義昭
 震災の支援春呼ぶ笑顔かな
 服部 静子
 長閑なる日の大切さ思ひ知る
 渡辺 一史

旭志文芸俳句会 3月詠草

さみどりの岸辺の芹や一握り
 芹川のり子
 厳しさに耐えてあしたの梅ふむむ
 芹川 蓉子

七城短歌会 3月詠草

歓声はホールインワン梅日和
 水谷 ミネ
 春うらら犬も寝転ぶ夫の傍
 中尾ヨシコ
 大正も遠くなりたり建国祭
 東 芳子

肥後狂句桜会 3月例会

諦めましょう 詐欺が一枚上だった
 上村 ○子
 波乱万丈 デビューの後はドサ周り
 小川 繁美
 前祝い 捕らぬ狸にならせんか
 狩野 本六
 無口な人 金庫番にはもってこい
 窪田 明徳
 出しゃばりが 隣の嫁の羨する
 田中 孝幸

肥後狂句水笑会 3月例会

いやばいた あたが傍ではあぶのう
 柏原 乗仏
 よっぽど閑 毎日釣りのハシゴさす
 井手 水光
 美容室 親が卒業するごたる
 宮上 美由
 いやばいた 海岸端はええなつた
 御手洗三代
 美容室 済んでもやっぱすすすけとる
 山隈 好茶

菊池短歌会 4月詠草

人も家も呑み込みみてゆく大津波映す
 この惨なす術もなし 黒田 衣子
 足湯にて避難の老いの足洗ふ行ひま
 さにイエスに似たり 古賀 勝士
 打ちおろすステンメの鍬が徒らに眩し
 も春の雲しろければ 竹野美智代
 生きてゐることの倅せ人恋ふる如き
 春燈点る夕べは 中川 愛子
 災害のニュースに明けて暮るる日や
 いつしか野辺の草青みたり
 中原ちえ子

高齡者大学 3月歌会

庭先の梅は満開となりけり今日の
 こころの明るくなりぬ
 氏岡 百枝
 雪被ぎし蠟梅の花も冬過ぎて春の芽
 吹きは吾を励ます 山下 菊代
 季節を知る草のいのちよ 杜鵑草今朝
 すがすがと新芽萌え出づ
 安東 綾子
 ことごとし礼は無用と娘は言へど
 「ありがとう」と思はず出づる
 梅野カヲル
 会合を終へてバス待つ屋空に一筋長
 き雲の浮き立つ 山城 雅子

文芸

ぶんげい きくち

きくち